

ふるさと地域づくりニュース(2)

町では、各地区に集落支援員を配置し、地域の活性化や地域づくりの取組みに対して、様々な活動を行っています。
地域づくりのために、各地区で活発に行われている活動をシリーズでご紹介します。

【問合せ先】 町民協働課 集落支援員 ☎029-291-8802 (直通)

矢頭中丸原区

矢頭中丸原区では、「つき白お披露目式及び大収穫祭」が開催されました。

同区は、平成二十五年度から三年間、「ふるさと元気づくり推進事業」を活用した事業を行い、地域の絆を深めてきました。
今回のイベントでは、毎年実施しているもちつき大会で使用するつき白が古くなったため、町内の林業店から材料となる櫟の提供を受け、区民の古市安男さんが三か月かけ制作をしました。白の周りには「絆」の文字なども刻まれ、区民から慕われました。



上飯沼区

上飯沼区では、今年度から「ふるさと元気づくり推進事業」を活用し、三世代交流会や町の名所めぐり・里山保全体験を実施しました。名所めぐりでは、飯沼城跡や小幡城跡を訪れました。小幡城跡では、小幡城跡に詳しい地域おこし協力隊の徳永隊員による説明があり、里山保全体験では、ふるさと元気づくりアドバイザーの平澤文子氏の支援のもとに、木の伐採体験等を行いました。



小鶴区

小鶴区では、八十歳以上の高齢者を対象とした祝賀会が開催されました。祝賀会は、茨城地区交番所長から交通安全とセ電話詐欺についての講演や小鶴囃子保存会によるお囃子と神楽舞等が演じられ、さらには、区の女性組織のしらゆり会により、かくし芸が披露され、楽しい長寿のお祝いになりました。



海老沢区

海老沢区では、女性会活動として、町生活改善クラブの協力のもと、「花巻寿司づくり」を行いました。
講師の実技指導に続き、参加者は「チューリップ」の花巻寿司に挑戦しました。講師のアドバイスを受けたり、参加者同士で作り方を確認したりしながら無事完成し、それぞれの出来栄えに満足していました。



船渡区

船渡区では、「蕎麦をつなぎ、人をつなぎ、地域をつなぎ」をテーマに、「蕎麦祭り」が行われました。区長の指導のもと、参加者は、蕎麦打ちを行い、地域のコミュニケーションを図りました。また別日に開催された「敬老祝賀会」では、区の方によるユニークな芸が披露されるなど、楽しく長寿をお祝いしました。



若宮区

若宮区では、「三世代交流伝統文化活動」が開催されました。
「マイ・箸づくり」や「墨流し」、ベーゴマや竹馬乗り等の「昔遊び」を通じて、大人が子どもに技術や遊び方を教えながら、地域の交流を深めました。
子どもたちも昼食のカレーライス作りを手伝い、三世代が共に協力した楽しい事業となりました。



赤坂区

赤坂区では、農村集落センターにおいて、地区内に住む方が、手作りのテキストにより、楷書や草書の指導を行う「きれいな字の書き方講座」を開講しています。講座は、毎月一回、約二十人の方が参加し、字を書くことを通じて、脳の老化防止につながる取り組みをしています。

